



くりお のりこ  
栗尾典子議員

広報戦略について問う

**議員** 行政広報の指針、原則、規則はあるのか。情報を出すときの責任の所在はどこなのか。

**市長** 職員倫理規程等のほか、著作権尊重、個人情報保護の原則に沿っており、細かな規定はしていない。責任は課長だが、事象に合わせた職位が対応する。

**議員** 具体的なガイドラインを作成し、統一的な情報の出し方と責任の所在の明確化が必要である。

**政策部長** 全庁的な規約が必要かも含めて速やかに検討したい。

**議員** 広報専門の人員配置を希望する。「正しく伝わる」ために広報戦略を整える必要がある。行政広報の管理、責任の意識の可視化



をし庁内共有していただきたい。

地域おこし協力隊について問う

**議員** この事業の目標は何か。また、公共施策としての地域づくりを目標とするならば担当課は協働のまちづくり課ではないのか。

**政策部長** 市の魅力を創造、発信し、新しい人の流れをつくるのが活動の目標である。幅広な観点から定住促進計画を進めている定住促進センターが妥当と考える。

**議員** 市のビジョンが明確ではない。ニーズを可視化して住民との共有はできているのか。

**政策部長** この施策が市民に理解いただけるよう広報したい。

**議員** 市、隊員、地域のよりよいマッチングで活性化をお願いする。



にしなふみひで  
仁科文秀議員

西大島新田団地の新規開発に伴う住民の安心安全の確保を

**議員** 西大島新田団地には約80戸の住宅があり、大雨時には浜中川等があふれ、数か所が浸水する。新たに第4期宅地造成の計画があり、住民は現在一本しかない県道への道路を新たに増やしてほしいと要望している。2025年開通予定の2号線バイパスの排水はどこにどのように流されるのか。

**市長** 今立川から津雲池東側にできるトンネルまでの雨水が、県道倉敷長浜笠岡線付近の水路を經由し、浜中川に自然流下で流れ込む。河川の流量等にも影響があるので、県、県とも協議を行っている。

**建設部長** まず、業者に進入路を新設してもらおうお願いをするが、かなわなかった場合は一番南側の市道の拡幅要望を受ける形になる。



空き家の管理責任・賠償責任を所有者等はしっかり果たせ

**議員** 近隣に被害を及ぼしている空き家の所有者・相続人等が管理責任を果たさないケースが増えている。事故が起きた場合の賠償責任があることも伝えておくべきだ。

**市長** 空き家の適正管理は所有者等の責務であり、状態が改善されない特定空家等には、修繕・除却等の措置の助言・指導を行うと認定の際の通知文に記している。

**議員** 空き家の緊急対応に所有者等が関与せず、費用を出さないなかで、市としてもう少し市民に寄り添った対応ができないか。

**建設部長** 緊急時で、屋根が飛びそうな場合に所有者等と連絡を取って市が対応した事例もある。市民に寄り添いこの事業を進めたい。